

## 政務活動費活動報告（視察）

- (1) 出席者（会派名・個人名）  
begin27・明るい彦根市民の会（谷口典隆・獅山向洋）
- (2) 実施日：平成28年(2016年)2月3日（水）～4日（木）

### 【1. 調査の目的】

#### (1) 本市における現状

本市の市役所本庁舎耐震化整備事業は、現庁舎を制震工法により耐震化を図ると共に、庁舎南側の前面に19.2メートルの5階建てを増築する方針が示され、2月1日に開かれた臨時議会では、増築部分の実施設計委託料や彦根駅東口に建設が予定されている仮設庁舎移転に係る備品総量の調査等に要する経費などが盛り込まれた補正予算が可決された。これにより今年度中に設計業者が決まる予定。

#### (2) 本市における課題

本庁舎耐震化整備事業の方針が示されたものの、隣接する県有地の取得や工事中における湖東土木事務所への来庁者の安全確保についての協議などが未確定であること、また現在市民会館内で執務する教育委員会と上下水道部などの耐震化整備後の本庁舎への集約に伴う窓口サービスの効率化やワンストップサービスの導入など、ソフト面での計画が未整備であることなどが課題として挙げられる。

また、本庁舎耐震化に合わせて議員から提案されている施設整備などについても、今後、議会に設置された本庁舎耐震化整備検討特別委員会内での議論を経て結論が導き出されるものの、「耐震化整備に合わせた市民サービスの向上」と「公有財産としての庁舎管理」という視点の狭間で、どの程度反映されるかが注視されるところである。

### 【2. 調査地選定理由】

#### (1) 調査項目①：市役所本庁舎の耐震改修工事について

調査項目②：耐震整備後の新庁舎の整備について

#### (2) 選定地①：埼玉県熊谷市

理由：耐震工事中の安全対策や動線確保と各課の仮配置における工夫と取り組みを参考とするため

#### 選定地②：栃木県佐野市

理由：新庁舎建設に係る窓口課の配置における工夫と取り組みおよび庁舎内のオープンスペースの活用を参考とするため

### 【3. 調査結果】

埼玉県熊谷市

#### (1) 内容

##### ■熊谷市役所本庁舎耐震改修工事概要

設計・監理：大成建設株式会社一級建築士事務所

施工：大成建設株式会社関東支店

総事業費：2,032,020,000 円

耐震改修工法：事務棟＝免震化工法

議会棟＝クロスウォールメタル・V型ブレース鉄骨による耐震補強  
一部柱躯体補強・構造スリット設置

工期：平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月

昭和 48 年竣工の市役所本庁舎が、平成 23 年に発生した東日本大震災後、実施された耐震診断により耐震性能が不足していることが判明した熊谷市では、市議会各会派より 1 名ずつ選出された市議 8 名と副市長以下 9 名の職員により構成された庁舎耐震化検討委員会を立ち上げ検討された結果、建て替えではなく耐震改修することが決定された。

その結果、地下 1 階＋地上 2 階建ての議会棟は「鉄骨ブレース及び柱巻立てによる耐震工法」で、地下 1 階＋地上 8 階建ての事務棟は「基礎下免震工法（積層ゴム支承等 32 台・オイルダンパー 16 台）」により補強工事が現在進められている。

工事中も庁舎内の業務を継続していることから課の移動は庁舎内で完結しており、工事による庁舎の分散化は避けられたが、書類やロッカー等の仮移動先が庁舎内には余裕がなく、出張所内にこれらのスペースを確保されたという。

また耐震化後の業務改善として、市民が多く訪れる 1 階窓口課の業務改善策として、机等の什器入替えやワンストップサービスに対応できるサービスカウンターの設置などにかかる経費が、工事費以外に約 7,500 万円必要となったとのことである。

## (2) 考察

工事中の来庁者への安全管理対策について尋ねると、業務を行いながらの（居ながらの）工事にあつて、工事エリアとの区画を仮囲いや仮設壁等の仮設物で明確にするとともに、工事のお知らせ及び案内の掲示の他、工事業者による日常点検等の安全確保に努めているとの回答を得た。さらには来庁者への負担緩和等の対応として、課の移動や 1 階窓口の待合いの工事における人的配置（嘱託職員等）も行っているという。実際に工事現場を案内していただいたが、現場での安全管理はもちろんのこと、来庁者や通行者への安全配慮には十分な対策と綿密な打ち合わせが行われていると感じられた。

同市の耐震改修工事中の各課の配置は特徴的で、庁舎内の倉庫スペース等を活用して、仮配置と工事をフロア内で繰り返すことで、課の仮移動は繰り返されるものの仮設庁舎の建設は必要なく、市民への負担は最小限に留められたとの認識を得たものである。これは、同事業を実施するにあたって、「耐震性能」・「最新の技術」・「使用しながらの工事（居ながら工事）」をはじめ、経済性等を念頭に置いた中で総合的に業者選定を行うプロポーザルを導入したところによるところが大きく、プロポーザルの導入に至る経緯では、検討委員会の中で様々な議論の末、「業者の持つ高い技術力や創意工夫した幅広い提案が期待できる設計・施工一括方式の公募型技術提案による発注方式が望ましい」との結論が導き出されたといい、市の執行部だけでなく議会も含めた同委員会で明確な方針が早期の段階で打ち出された結果と捉えると、彦根市においても耐震化整備後の窓口サービスの効率化や動

線も含めた業務計画を早期に定める必要性を感じたところである。

## 栃木県佐野市

### (3) 内容

#### ■佐野市新庁舎建設工事概要

設計・監理：佐藤総合計画・都市環境建築設計事務所特定設計業務共同企業体

施工：鹿島建設株式会社関東支店栃木営業所

総事業費：7,174,536,000 円

階数：地上7階・地下1階

構造：上部＝鉄骨鉄筋コンクリート造＋一部鉄骨造

下部＝鉄筋コンクリート（地下駐車場）

工期：平成25年10月～平成27年10月

平成22年12月から市役所本庁舎の耐震診断を実施していた佐野市では、東日本大震災により市役所本庁舎が被災し、中でも議場棟が大きな損壊を受け使用不能になったことを受け、4月下旬には議会の全員協議会を開催し、①本庁舎耐震診断の結果②仮庁舎への移転スケジュール案③新庁舎建設スケジュール案について説明が行われた。その後5月には新庁舎建設検討委員会が、庁内には新庁舎建設準備室が設置され、新庁舎建設に向けてのスケジュールが5月下旬には議会に対し示された。その後、新庁舎建設推進本部の議論を経て、公募型プロポーザル方式の導入や総合評価落札方式による施工者の決定と並行して、事業計画や実施設計の段階において、各界各層からの意見を取り入れるための自由意見の募集や市民ワークショップ、子どもワークショップやパブリックコメントを繰り返し、これらで得た意見を計画素案などに反映されていることは、市民らに好評を得ているという。

こうした経緯から生まれ、市民に開かれた文字通りパブリックスペースが面積の半分を占める1階部分は、北エントランスと南エントランスを結ぶ通路が、休日でも開放されており、市民が自由に往来すると共に、通路の東側には市民や市内の団体が自由に利用できる市民活動スペースが設けられ、ギャラリーとしても活用されるなど、市役所が憩いの場となっている。

佐野市の新庁舎で採用された柱頭免震構造による耐震工法は高い安全性に加え、免震層を利用して地下に駐車場や書庫、備蓄庫を配置することで、空間を活用した好例とされているという。

施工業者には、入札要件に地元での資材調達や物品購入などの割合を明記していたことから、一定の地元経済への波及効果はみられたとされており、高い技術力で安全・安心な総合庁舎を整備することができたとの評価がなされていた。

### (4) 考察

「計画1年・設計1年・建築2年という想定通りのスケジュールで事業を完了できた」と新庁舎建設事業の経過についてご説明いただいた佐野市行政経営部新庁舎建設課のご担

当者が自信をもって言われたように、同事業は方針決定の迅速さが結果的に市民の参画も得た新庁舎整備につながったとの所感である。

東日本大震災により旧庁舎が被災したことが、新庁舎建設の直接的な要因であるとの認識は市民も含めて衆目の一致するところではあろうと思うものの、屋上へのホバリングスペースや発電装置の設置、太陽光・地中熱などの自然エネルギーの活用、雨水の再利用やテラスの緑化など随所にわたり環境に配慮された新庁舎の完成は、市長のトップダウンにより明確な方針が早期に示されたことに起因していると言っても過言ではない。また、これまで分庁舎方式を採用し、利便性の面で市民に負担を強いてきたとの思いや経験から、総合庁舎として生まれ変わった新庁舎は、市民のアイディアが活かされている箇所や職員の見解も多く採用されていることが窺える。

細かな点ではあるが、市民が訪れる相談室を例に挙げるなら、市民のプライバシーが保護されることはもちろんのこと、部屋のレイアウトやドアの配置に至るまで、職員の見解が活かされ採用されているとのことであった。また各課窓口のサインには、市民が市役所を訪れた目的により、関係窓口が判別できるような表示がされており、こちらは市民の視点での工夫がなされている。

彦根市においては市役所本庁舎の耐震化整備事業に合わせて、窓口の整備・再構築も想定される場所ではあるが、職員の都合ではなく、市民の視点での動線の確保やサインの表示などが求められるところであり、今後の耐震化整備検討特別委員会で市が示す基本計画や実施設計の中での協議に参考になったものとする。